

平成30年度 平取ダム工程コスト検討委員会の
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言を頂くため「平取ダム工程コスト検討委員会」を下記のとおり開催しました。

1. 日 時 : 平成 31 年 2 月 27 日 (水) 13:30~14:30
2. 場 所 : 室蘭開発建設部二風谷ダム管理所 1F 会議室
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授
◎藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員
◎委員長(※50音順)

4. 審議内容

- (1)基本計画変更の概要
- (2)事業の進捗状況
- (3)平成30年度工事内容
- (4)コスト縮減への取り組み

【前回の意見に対する取組状況】

- ・受注者とは工事の進捗や課題解決について協議を行う会議を定期的で開催している。H30年度においても、仮設工に関する費用のコスト縮減に努めた。
- ・プリンターや什器については、サイクルコストを踏まえ、リース品や現事業所の物を活用するように配慮し、コスト縮減に努める。

【今年度以降のコスト縮減】

- ・堤体材料の廃棄岩の有効活用について
- ・工事間のクレーン共用
- ・新技術活用による放流警報局舎の見直しについて
- ・ダムコンにおける汎用品の見直し
- ・堤頂部における照明設備の見直し
- ・ライニング材の見直しについて
- ・斜面对策工事における縮減対策(運搬費の縮減)

5. 審議結果

○事業の概要

- ・実施箇所 北海道沙流郡平取町
- ・事業期間 昭和 48 年度～平成 33 年度

・総事業費 約 1,410 億円

○事業状況

- ・事業費ベースの進捗率は平成 30 年度末で約 75%。
- ・平成 31 年度は本体工事等を実施。

○主な意見

- ・プリンター等の周辺機器については、古い物を使用するよりも新しい物を使用した方が、長期的な意味でコスト縮減につながる場合もあると思うので、リース品も含めて広い視野で検討していただきたい。
- ・什器についても、まとめて発注すれば安価になる場合もあると思うので、留意していただきたい。